

安田倉庫グループ 個人投資家向け説明会

強くなる、ひとつになる

YASDA GROUP CHALLENGE 2027

2026年8月23日

安田倉庫株式会社 代表取締役社長 小川 一成

(東証プライム 証券コード:9324)

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

【東証プライム：9324】



代表取締役社長執行役員

小川 一成

1987年04月	当社入社
2005年07月	芝浦営業所長
2011年07月	業務部長
2014年06月	取締役
2018年06月	常務取締役
2020年06月	取締役常務執行役員
2024年04月	代表取締役社長執行役員(現任)

みなさまの暮らしのなかに、
当社グループのさまざまなサービスがあります。

物流事業
×
不動産事業



- 01 安田倉庫の概要 P.4
- 02 成長戦略 P.15
- 03 業績および株主還元 P.29

01

個人投資家向け説明会 安田倉庫の概要



企業理念



経営理念

健全な企業活動を通じて、
お客様、株主、従業員、地域社会の期待に応え
豊かさを実現する。

Value

YASDA Value

お客様の声に真摯に耳を傾け誠実にお応えする
安田倉庫グループで共有する価値

会社名

安田倉庫株式会社

Yasuda Logistics Corporation

所在地

東京都港区芝浦三丁目1番1号

msb Tamachi 田町ステーションタワーN 29階

代表者

代表取締役社長執行役員 小川 一成

代表取締役専務執行役員 松井 正

事業内容

倉庫業、運送事業、不動産業

資本金

3,602,100千円

市場

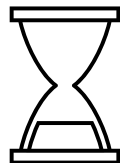
東証プライム(証券コード:9324)

決算月

3月

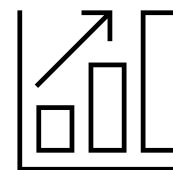
創立

1919年



売上高

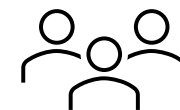
800億円



※2026年3月期

従業員数

連結 2,581名
単体 488名



※2026年3月末時点

連結子会社

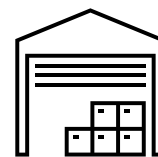
国内 17社
海外 7社



※2026年7月末時点

物流施設 所管面積

662千m²



※2026年3月末時点

営業倉庫登録拠点数

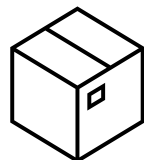
国内 76拠点



※2026年7月末時点

年間入出庫量

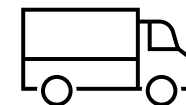
1,817千トン



※2026年3月期

自動車運送取扱量

2,345千トン



※2026年3月期

国際貨物取扱量

1,007千トン



※2026年3月期

1919年

- ・興亜起業(株)として創立



安田善次郎



守屋此助

1999年

- ・東証2部上場

2005年

- ・東証1部上場

**2020年**

- ・オオニシ機工のグループ入り
- ・東京メディカル
ロジスティクスセンター I / II 開設

2021年

- ・南信貨物自動車Gのグループ入り

2022年

- ・東証プライム移行

**2025年**

- ・吉川営業所の開設

2026年

- ・富山県トラックのグループ入り
- ・羽田営業所の開設



富山県トラック



羽田営業所

1919年**1924年**

- ・横浜市で普通倉庫業を開業
(現・守屋町営業所)

1932年

- ・東京市芝区に東京営業所
を開設 (現・芝浦営業所)

1942年

- ・社名を安田倉庫(株)に改称



開業当時の守屋町営業所



開業当時の芝浦営業所

2019年**2019年**

- ・創立100周年を迎える



- ・大西運輸のグループ入り

**2023年**

- ・安田ロジファーマ
YSO Logiのグループ入り
- ・インド・シンガポール進出

2024年

- ・オリエント・サービス
後藤建築事務所の
グループ入り
- ・加須営業所の開設



加須営業所

国内物流



オフィス
サポート



メディカル
物流



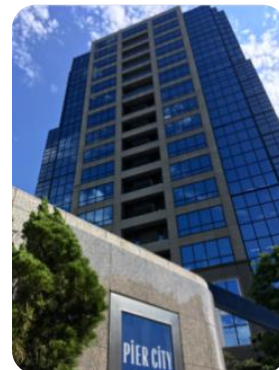
国際
物流



IT機器
物流



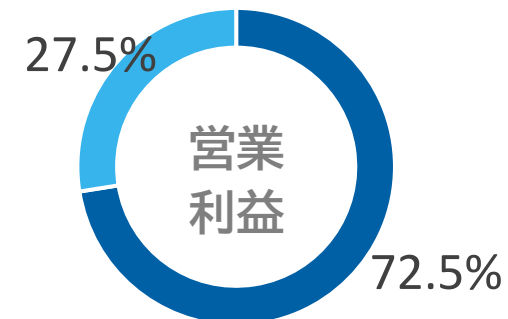
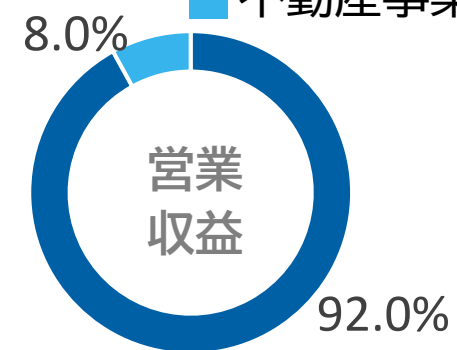
不動産



26年3月期連結業績

営業収益(百万円)	80,028
営業利益(百万円)	4,289
営業利益率	5.4%

収益構成 ■ 物流事業
■ 不動産事業



首都圏を中心とした、5大都市圏で営業倉庫を展開
グループ運送会社6社、トラック1,000台を超えるグループ輸配送網

安田倉庫グループ保管面積(2026年3月末時点)
合計:547,549㎡ (東京ドーム約11.7個分)

*保管面積は倉庫業法に基づく営業倉庫面積であり、
借庫面積194,725㎡を含む



安田運輸



本社 神奈川県
主なエリア 首都圏・関西・中京・九州・東北
車両台数 112台

大西運輸



本社 石川県
主なエリア 北陸
車両台数 292台

南信貨物自動車



本社 長野県
主なエリア 甲信・首都圏・中京
車両台数 319台(PLCを含む)

YSO Logi



本社 京都府
主なエリア 関西・首都圏・九州
車両台数 72台

オリエント・サービス



本社 愛知県
主なエリア 中京
車両台数 178台

富山県トラック

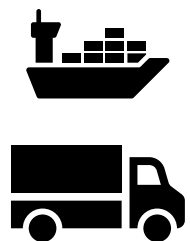


本社 富山県
主なエリア 北陸
車両台数 85台



好立地の国内物流拠点を基盤に、
お客様にとって最適なロジスティクスを一括してご提供いたします。

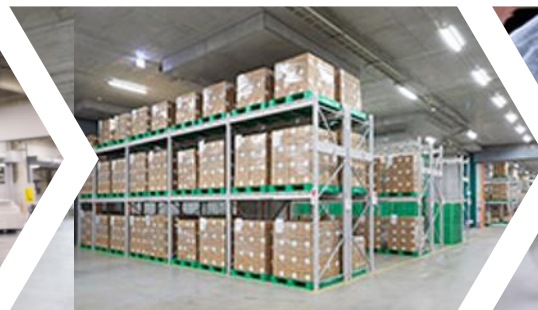
豊富な実績とノウハウに基づき、保管、流通加工、輸配送まで一貫して対応



入庫

荷受けから確認・報告まで
迅速かつ正確に対応

- ✓ 多様な納品形態に対応
- ✓ 数量・状態確認
- ✓ 仕分け作業
- ✓ 記録・写真撮影 など



保管

商品特性に合わせた
各種保管環境をご提供

- ✓ 常温倉庫
- ✓ 定温倉庫
- ✓ 危険品倉庫
- ✓ 保税エリア など



流通加工

お客様のご要望に応じて
きめ細かく柔軟に対応

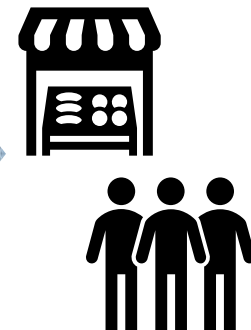
- ✓ 検品
- ✓ ラベル・値札貼り
- ✓ セット組
- ✓ ギフト梱包 など



輸配送

迅速・確実・安全な
配送サービスをご提供

- ✓ トラック輸送
- ✓ 航空便輸送
- ✓ 鉄道輸送
- ✓ 内航船輸送 など





経験豊富なメディカル専門スタッフと充実した専用設備で
医薬品・医療機器の様々な専門ニーズに対応。

医薬品物流

YASDA
Logistics, Progress, Borderless.

医薬品の取扱いの
豊富な実績

YASDA
Logi & Pharma

製薬企業グループとして
確立したネットワーク

2社の強みを融合し
東西2拠点化によるBCP対応強化を図る

- 安田倉庫拠点
- 安田ロジファーマ拠点

管理薬剤師の厳格な管理による高品質な作業体制
最適な保管環境・専用設備・輸配送体制



医療機器物流

大消費地である首都圏での充実したネットワーク
京浜港・羽田空港に至近で国内外への輸送が容易

物流事業者として初めて全区分における
医療機器修理業許可(*)を取得

(*)修理区分特管第1～8区分・
非特管第1～9区分



IT機器 物流



IT機器に関わる物流サービスを
ワンストップでご提供いたします。



オフィス サポート



文書の安全な保管・検索・管理や引越など
オフィスに関わる要望にきめ細かく対応いたします。

安田倉庫グループのトータルオフィス
プランニングソリューション

各種工事



レイアウト設計



什器一時保管



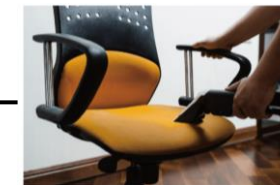
Y-TOPS
オフィス移転



不要什器買取・廃棄



什器クリーニング



文書保管・文書電子化



国際物流



アジアを中心とした独自の世界的なネットワークを活用して、
海上・航空輸送、フォワーディング、通関、倉庫、配送までをワンストップで提供

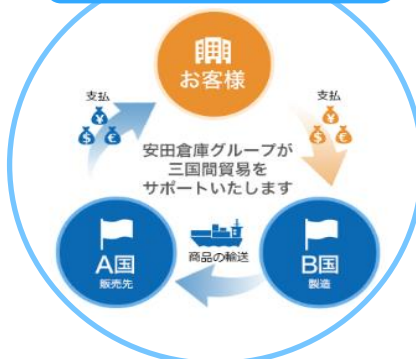
国際海上輸送



鋼材輸送



三国間輸送



国際航空輸送



通関業務



海外物流
サービス



- 安田倉庫グループの国際ネットワーク
各国の成長を見越した先行投資による
充実したアジア地域の輸出入拠点



● 安田倉庫グループ
フォワーディング拠点

不動産

東京や横浜地区を中心に、お客様のニーズにあった再開発を行い、オフィスビル、住居等、快適な空間をご提供いたします。

安田倉庫



安田エステートサービス



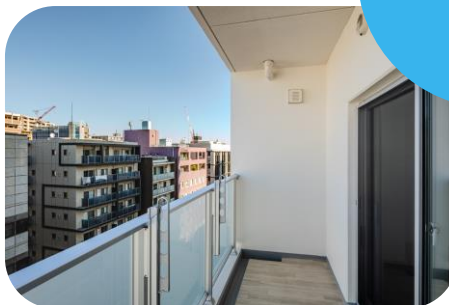
後藤建築事務所



オフィス



ホテル・商業施設



レジデンス



駐車場

不動産
賃貸



施設・設備管理



警備

建物
管理



清掃



設計・工事

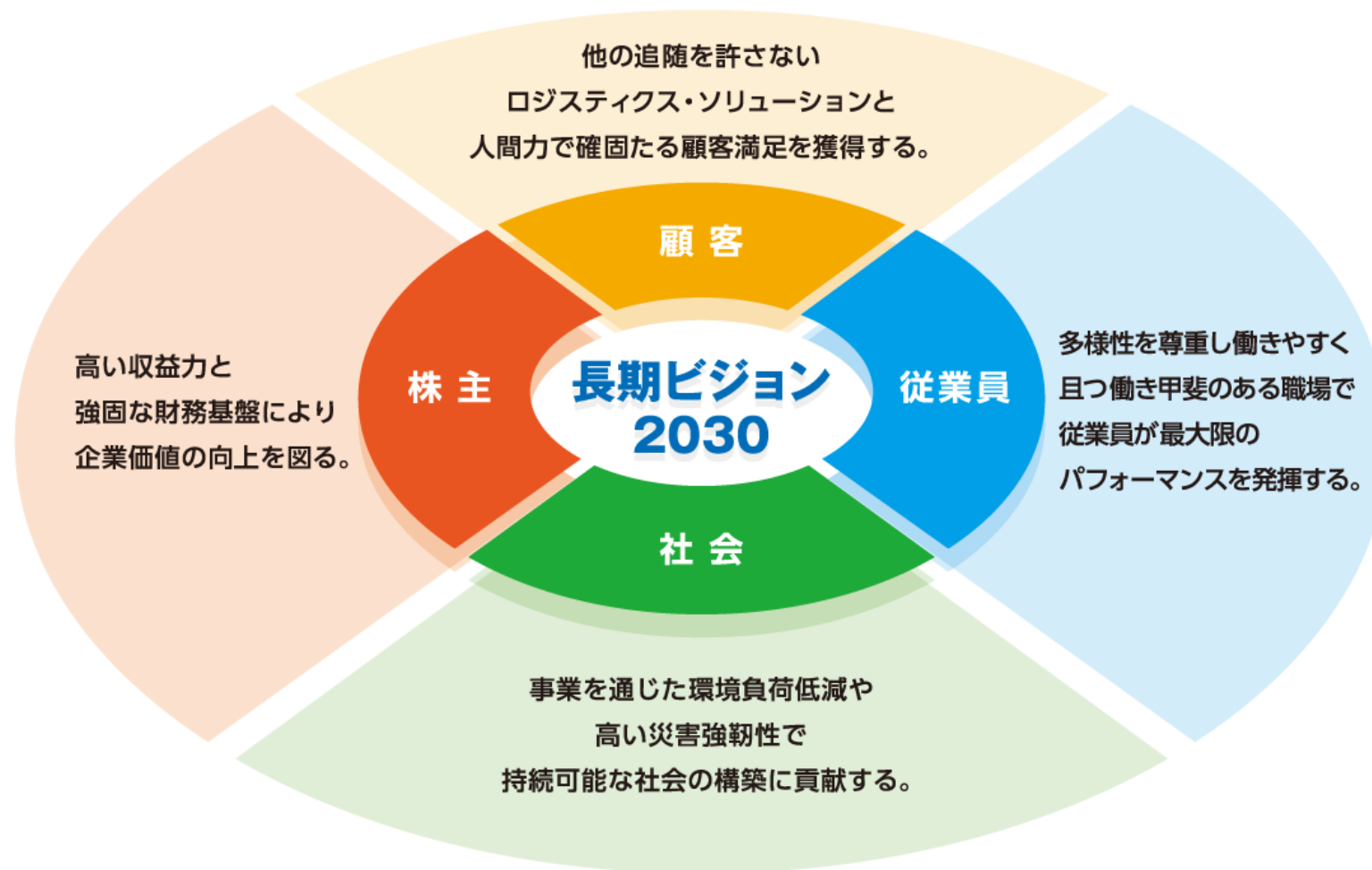
02

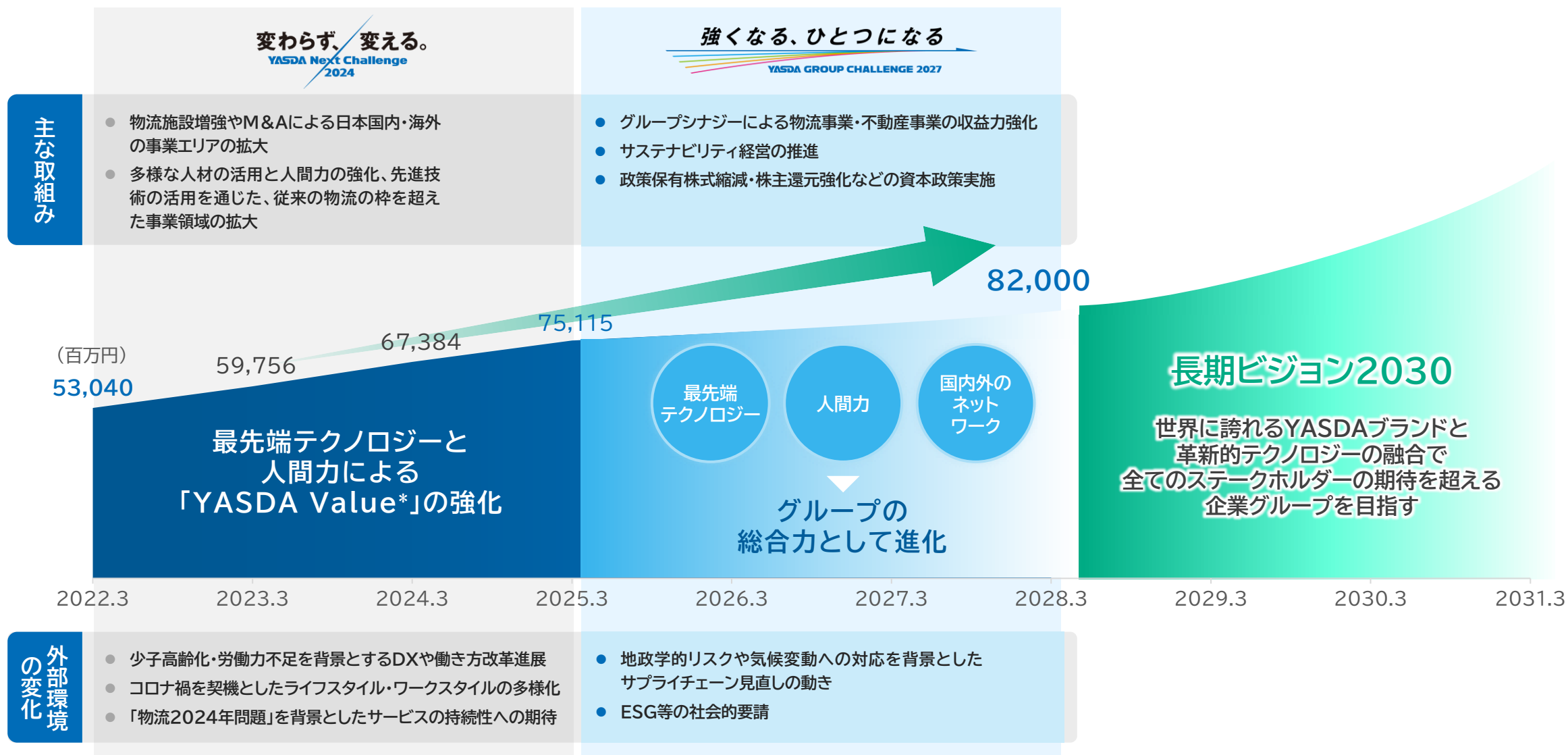
個人投資家向け説明会 成長戦略

強くなる、ひとつになる

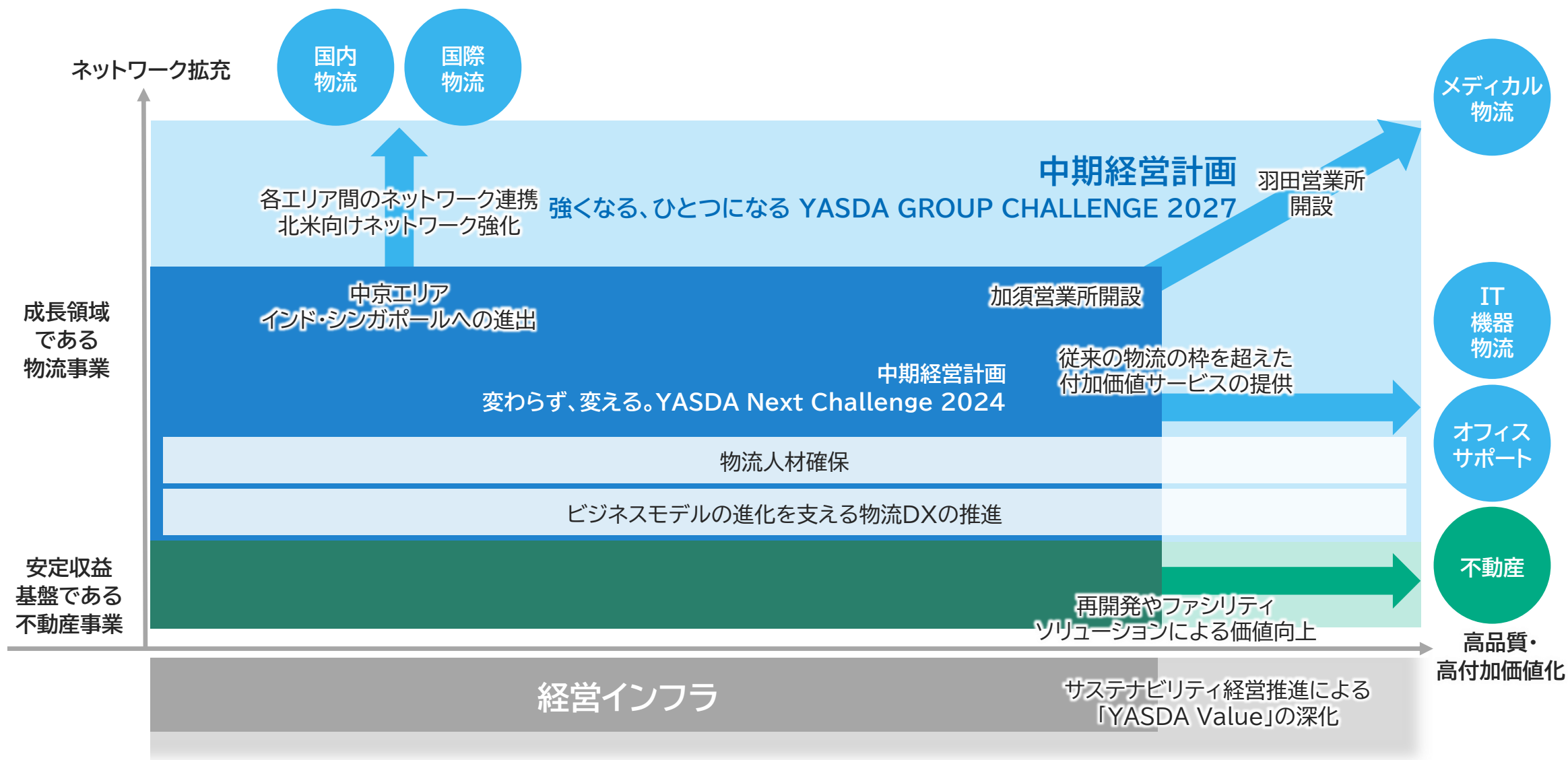
YASUDA GROUP CHALLENGE 2027

世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で
全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す





*YASDA Value: お客様の声に真摯に耳を傾け誠実にお応えする安田倉庫グループで共有する価値



強くなる、ひとつになる

YASDA GROUP CHALLENGE 2027

基本方針

最先端テクノロジーと多様な人間力、そして国内外に広がるネットワーク。
安田倉庫グループの総合力を進化させ、
社会とお客様の期待を超える「YASDA Value」の提供を目指す。

基本戦略

物流事業

- グループ連携によるネットワーク拡充
- 潜在するニーズを捉えた高品質・高付加価値物流の提供
- 効率化・合理化の推進

不動産事業

- 保有不動産の維持管理・再開発を通じた価値向上
- 専門性を活かした不動産ソリューションの提供

経営インフラ

- 生産性向上
- サステナビリティ経営の推進
- グループガバナンス強化
- 持続的な成長を可能にする資本政策と財務健全性維持、株主還元強化

数値目標

2028年
3月期連結

営業
収益

820億円

営業
利益

45億円

ROE

5.5%以上

さらなる国内輸送網の拡充
新たなグループ会社との連携開始へ

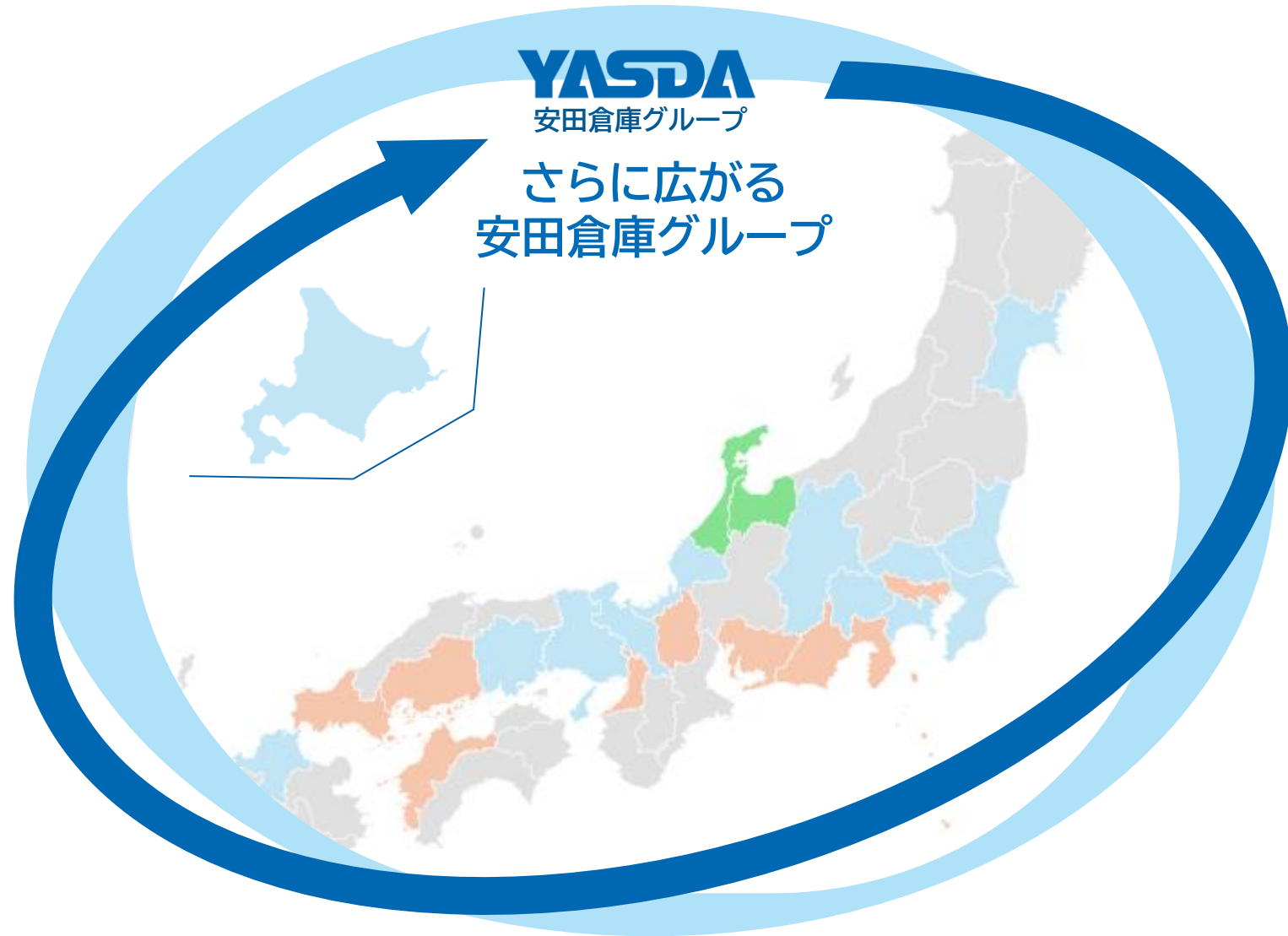
○帝人物流株式会社(大阪府大阪市)

- 2025年11月14日 全株式取得を発表
- 2026年 4月10日 一部株式(20%)を取得
※全株式の取得時期は調整中

西日本を中心としたネットワークの拡充などを
目的に、両社の物流ノウハウなどを融合することで、
安定した総合物流サービスの実現を目指す

○富山県トラック株式会社(富山県富山市)

- 2026年4月21日 新たにグループ会社化
既存グループ会社の大西運輸株式会社
(石川県金沢市)とのコラボレーションなど、
北陸地方でのネットワーク拡充と物流サービスの
更なる拡充を図る



● 帝人物流株式会社の拠点がある都道府県 ● 富山県トラック株式会社の拠点がある都道府県 ● 既存グループ会社の拠点がある都道府県

※東京都、大阪府、滋賀県、愛知県、石川県、富山県については、既存グループ会社の拠点もございます。

羽田営業所開設

羽田空港・東京港・首都高速道路に近接し、航空機を活用した全国配送や海上コンテナ貨物の輸出入、関東圏への直接配送に適した物流拠点



外観

倉庫概要

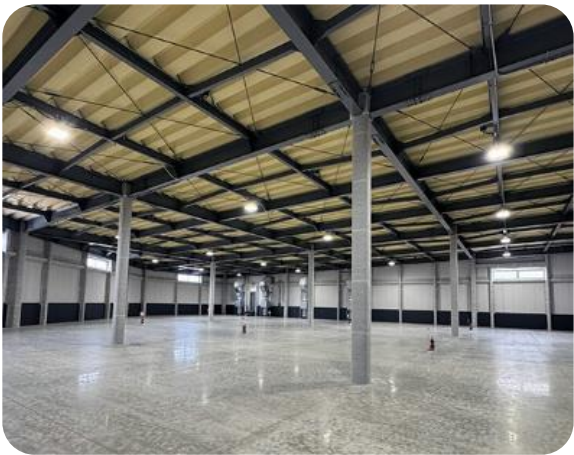
所在地	東京都大田区昭和島2丁目4-4
敷地面積	4,213㎡（1,274坪）
延床面積	8,471㎡（2,562坪）
設備	空調設備、給排水設備、非常用発電機 等
構造	鉄骨造(耐震構造)・5階建て
開設日	2026年6月1日
立地・アクセス	東京モノレール昭和島駅から徒歩1分

オリエント・サービス 危険物倉庫竣工

危険物保管の需要増への対応力強化を図るため、明知物流センターの隣接地において3棟の危険物倉庫を建設・竣工



外観



内観

危険物倉庫 概要

所在地	愛知県春日井市明知町
敷地面積	7,468 ㎡(2,259坪)
保管床面積	2,996 ㎡(906坪)
設備	空調完備
主要構造	鉄骨造、平屋建
稼働開始	2026年3月
立地・アクセス	中央自動車道小牧東IC至近

インドネシア新倉庫の建設

サプライチェーン分散やインド・東南アジア向け物流需要に対応するため、経済成長が加速するインドネシアにおける域内物流サービスの強化



近隣マップ



新物流倉庫 完成パース

新物流倉庫 計画概要

建設地	インドネシア西ジャワ州ブカシ県／MM2100工業団地	
敷地面積	36,000㎡ (10,890坪)	
延床面積	12,762㎡ (3,860坪)	
保管床面積	8,779㎡ (2,655坪)	
稼働開始予定	2027年6月以降	
立地・アクセス	ジャカルタ中心地から	約30km
	スカルノハッタ国際空港から	約55km
	タンジュンプリオク港から	約35km

国際物流サービス紹介動画を公開

安田倉庫グループ 国際物流サービス



[国際物流サービス動画\(日本語\)当社コーポレートサイト](#)

- 中国でのハンガーコンテナ輸送業務や鋼材輸送の様子、ベトナム・シンガポール・インドネシア・インドの各拠点の紹介など、当社グループの国際物流サービスの全体像をご紹介します
- 海上・航空輸送、フォワーディング、通関、倉庫、配送までを一貫して担う当社グループの総合力や幅広い物流サービスを感じていただける内容

コンサルティングサービスの強化

物流コンサルティングサービスの提供を通じた
ソリューション型営業力の更なる強化

YASUDA Value

お客様の声に真摯に耳を傾け誠実にお応え
する安田倉庫グループで共有する価値



- 顧客課題やリスクを洗い出し、長期計画に合致した最適なテーマを抽出し、持続可能な物流体制を提案
- 物流効率化法改正を含む外部環境の変化を的確に捉えることで、安心して長くご利用いただける物流サービスを提供

物流の側面からお客様の経営基盤強化に寄与

メディカル物流の取組

2拠点で医薬品製造業(包装・表示・保管)の許可を新たに取得



医薬品製造業 新規取得拠点①
安田倉庫
茨木営業所(大阪府茨木市)



医薬品製造業 新規取得拠点②
安田ロジファーマ
北房センター(岡山県真庭市)

IT機器物流サービスの取組

新テクニカルセンターにおけるIT機器物流サービスの提供

- 横河レンタ・リース株式会社および芙蓉総合リース株式会社は、パソコンのライフ・サイクル・マネジメントサービスの拠点となる新たなテクニカルセンターを神奈川県海老名市に開設
- 当社は、構内および外部の物流機能を担うことにより、高品質な物流サービスを提供



「三井不動産インダストリアルパーク
海老名 & forest」完成予想図

AI・ロボット技術などの物流DXを活用した効率化・合理化の推進

▽ ロボット技術を活用した物流DXの推進

● 大黒流通センターでのPA-AMR導入



● 九州営業所でのAMR導入



▽ JILS「ロジスティクス大賞 現場革新奨励賞」受賞

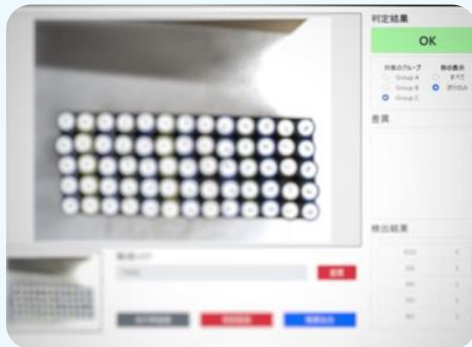
● 「デジタルツイン×最適化シミュレーションによるメディカル物流変革」



JILS:公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

▽ AIを活用した業務効率化の推進

● 医療機器物流におけるAI画像検品ソリューション



● 生成AI活用による業務変革



▽ 経済産業省が定める「DX認定制度」の認定更新



中期経営計画の主な取組⑥ 保有不動産の維持管理・再開発を通じた価値向上

保有不動産の適切なメンテナンスや、東京芝浦地区、横浜鶴屋町地区の再開発推進により資産価値をさらに向上させ、当社グループの安定的な収益基盤である不動産事業の強化・拡大を図る

○東京芝浦地区

安田8号ビル
(2026年7月竣工)



- 不動産事業施設
- リニューアル・再開発予定
- 物流事業拠点

- 高い床荷重・十分な階高・荷物用エレベーターなど建物の持つ強みを活かし、オフィスからラボ・作業場まで対応できる柔軟なビルへリニューアル、資産を有効活用しながら、投資効率の向上を図る
- 内装・設備・共用部や非常用発電機などを全面的に更新し、快適性と安定性の向上を実現

○横浜鶴屋町地区



- 不動産事業施設
- 再開発予定

第8安田ビル(2024年12月竣工)

- 横浜駅から徒歩4分、道幅が広い環状1号線に面した視認性の高い立地
- RC造9階建てで、1階に薬局、2～5階にクリニックモール、6～9階の賃貸住宅で構成する複合用途のビル

陸運ネットワーク統括部の新設

陸運を軸としたグループネットワークの連携強化を図るため、
陸運ネットワークの統括・調整機能を担う新組織を設置
(2026年7月1日)

安田倉庫グループ 陸運関係会社

安田運輸

大西運輸

オオニシ機工

南信貨物自動車
グループ

YSO Logi

オリエント・
サービス

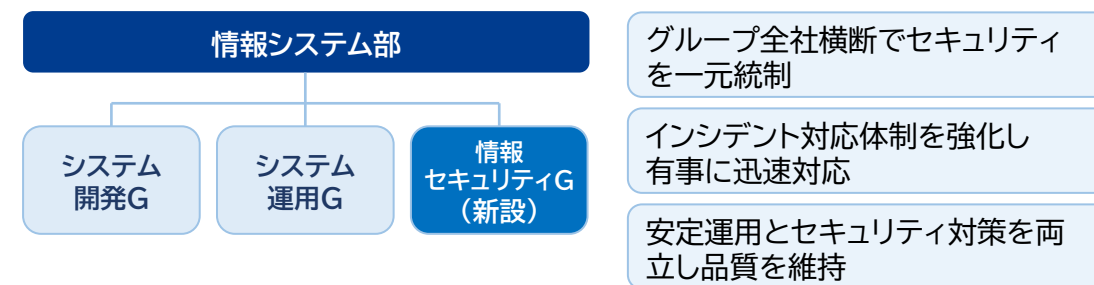
富山県トラック

陸運ネットワーク統括部

強固な陸運ネットワークを構築し、当社グループの総合力を一層高める

情報セキュリティグループの新設

当社グループが利用するIT環境の安定運用および安全性の確保を
図るため、情報セキュリティ対策を専門的に推進する体制を強化
(2026年7月1日)



各種法改正への的確な対応

将来の輸送力不足を回避するために国が講じる各種法改正に、
安田倉庫グループとして適切に対応



非財務目標の策定

▽ 非財務目標の策定

● 非財務目標

マテリアリティ	関連するSDGs	非財務目標	種別	2025年度実績	2027年度目標	2030年度目標
高品質で安全なサービスの提供による最適な社会環境の創造	3 持続可能な開発目標	業務改善報告書提出件数	●	1,403件	1,300件	1,500件
		生成AI利用者率 ^(※1)	●	21.3%	20%	50%
低炭素・循環型社会への貢献	7 持続可能な開発目標	CO ₂ 排出量削減率(Scope1+2) ^(※2)	●	10.3%	19%	30%
		再生可能エネルギー発電量	●	1,555MWh	3,700MWh	5,000MWh
多様な人材がゆとりと豊かさを体現できる職場の実現	3 持続可能な開発目標	女性管理職比率	●	15.1%	20%	25%
		年次有給休暇の取得率	●	67.2%	75%	75%
		男性の育児休業取得率	●	50.0%	75%	100%
		従業員1人当たりの研修受講回数	●	4.1回	4.5回	5.0回
企業の社会的責任を深く認識した経営の実践	16 持続可能な開発目標	安田倉庫グループ全体でコーポレート・ガバナンス高度化、各種リスク(コンプライアンス、情報セキュリティ、災害など)へのマネジメント強化に取り組む				

●・・・グループ目標

●・・・安田倉庫単体目標

(※1) 営業日において、1日1回以上利用した生成AI利用者を「1人日」とカウントし、年間の延べ利用者数(人日)を年間の延べ従業員数(人日)で割り込んだ比率

(※2) 2022年度を基準としたCO₂排出量削減率

品質への取り組み

▽ 全員参加型の改善でYASDA Valueを深化

- 自発的な改善提案(業務改善報告書)の提出件数が過去最多の1,400件超(グループ全組織、全従業員対象)

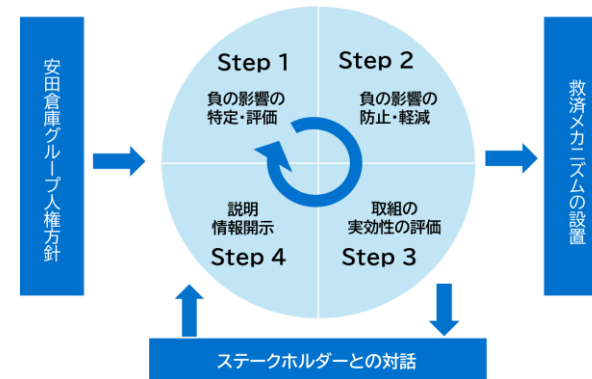
気候変動への取り組み

▽ 再生可能エネルギーの創出・活用による脱炭素化推進

- 柏営業所、守屋町営業所にオフサイトPPA導入
- 大井営業所に太陽光発電設備を設置
- 年間2,460MWhの再生可能エネルギーを創出予定

人権への取り組み

▽ 安田倉庫グループ人権方針に掲げる、人権デュー・ディリジェンスの実施に向け仕組み構築に着手

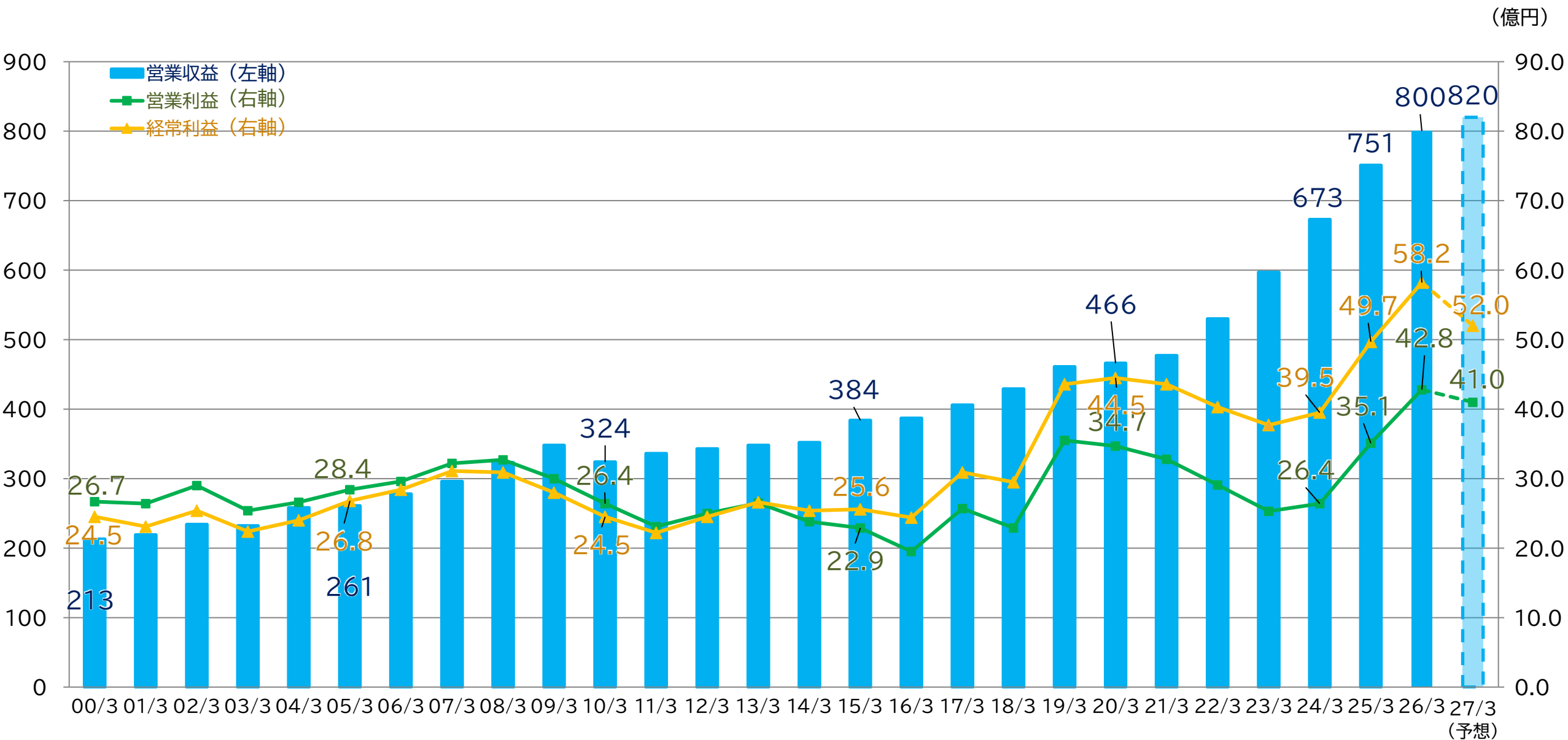


03

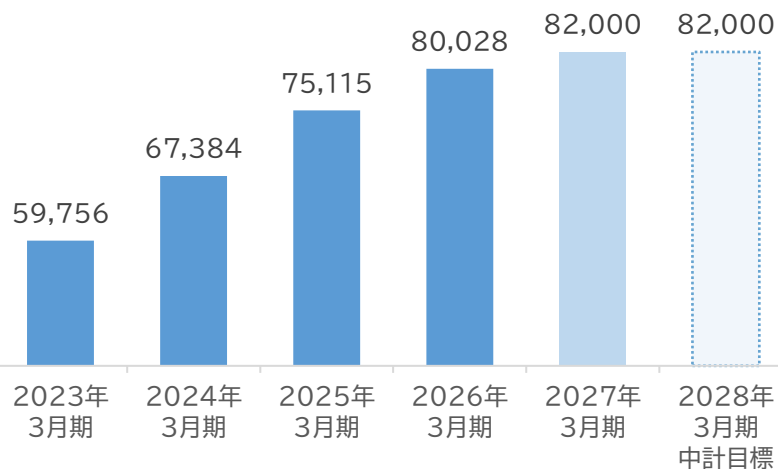
個人投資家向け説明会 業績および株主還元

強くなる、ひとつになる

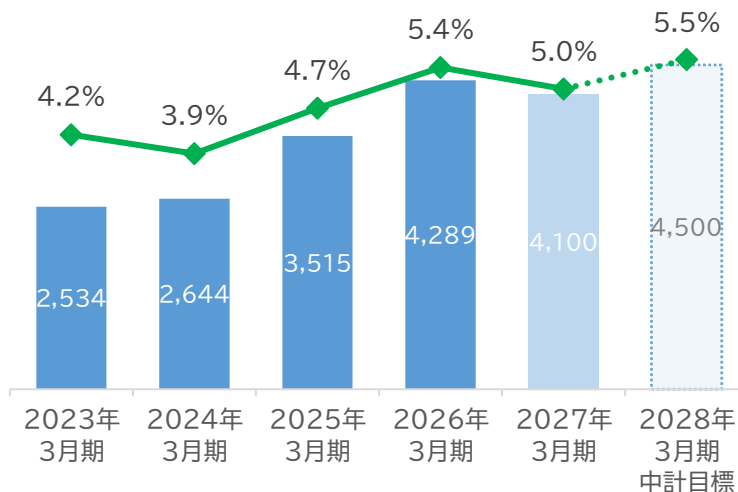
YASUDA GROUP CHALLENGE 2027



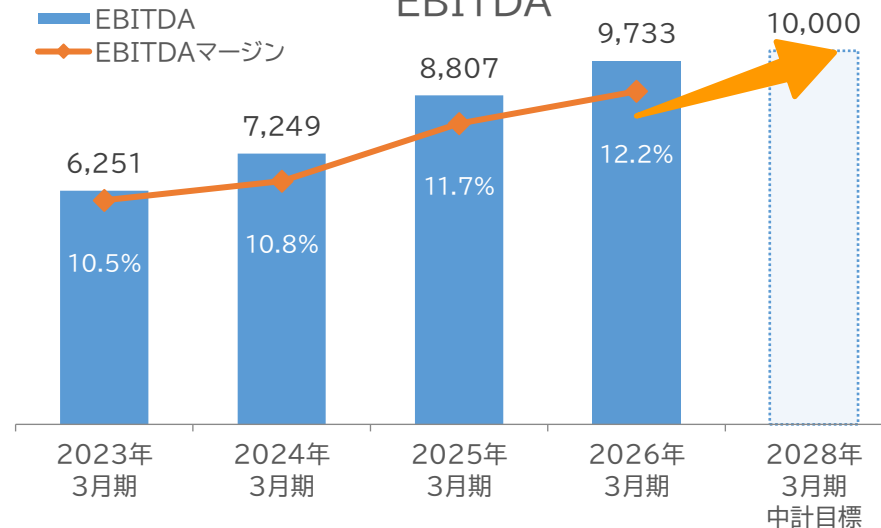
営業収益



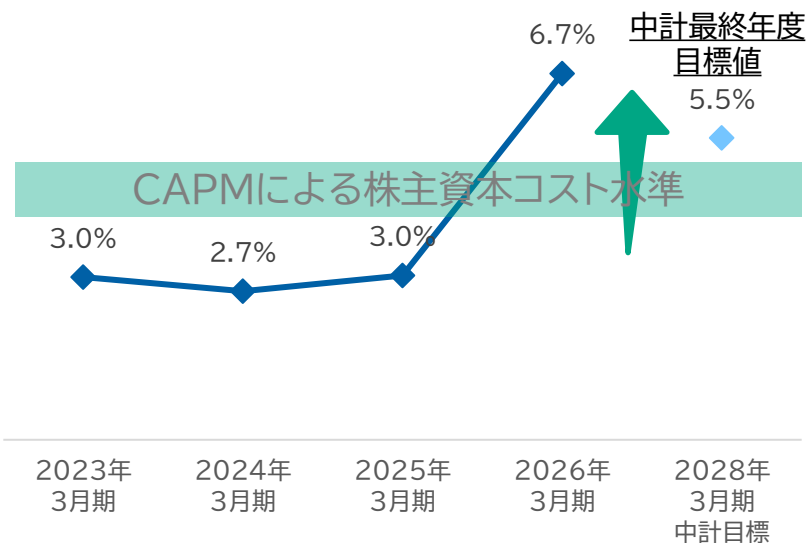
営業利益・営業利益率



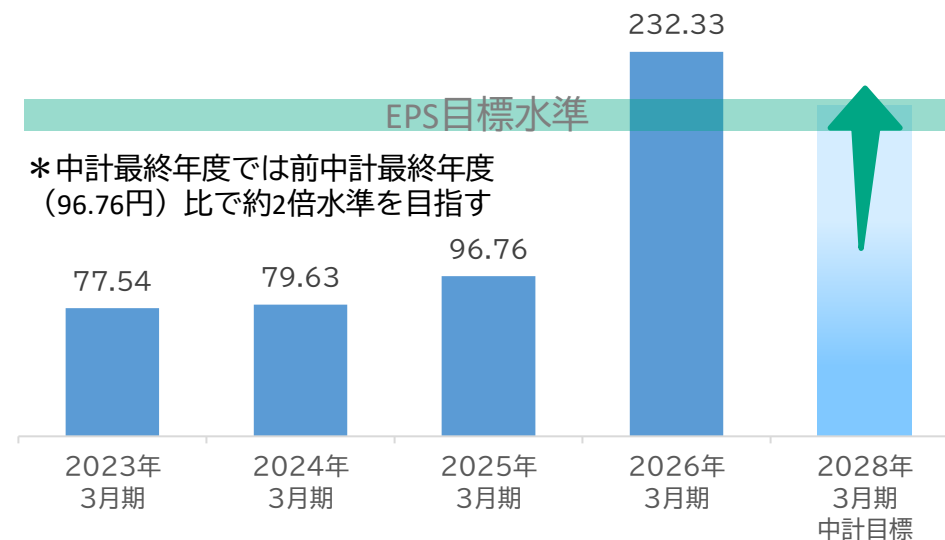
EBITDA (単位:百万円)



ROE



EPS



1999年6月9日(東証2部上場)株価を1とする



強くなる、ひとつになる

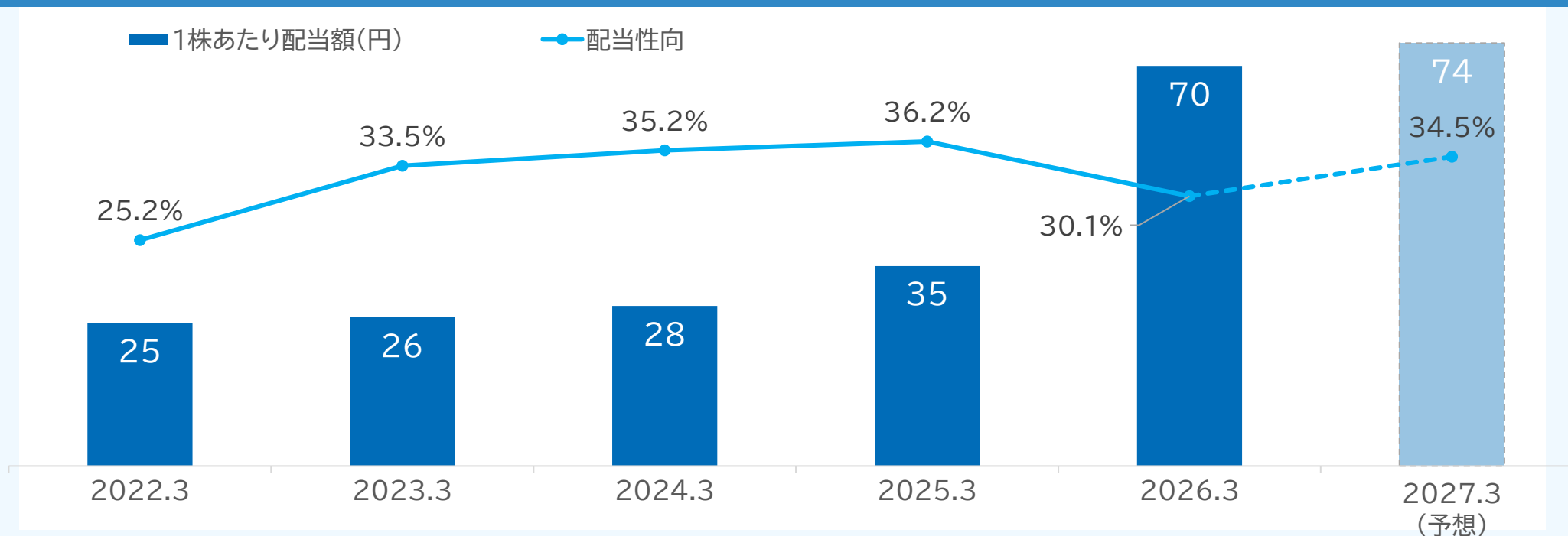
YASDA GROUP CHALLENGE 2027

総還元性向45%を目安

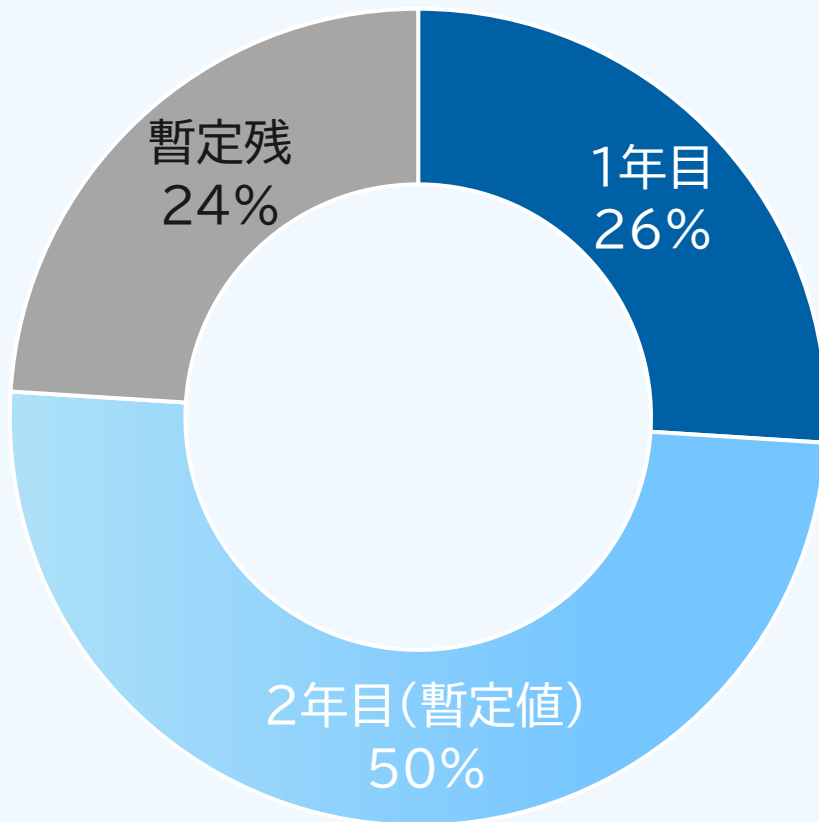
累進配当かつ
連結配当性向30%下限

機動的な自己株式
取得を検討

2026年3月期 中間配当:29円 期末配当:41円 通期:70円



政策保有株式縮減 中計3年間で時価総額約100億円を目標



※累計進捗は2026年7月15日時点の実績

自己株式の取得

- 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- 取得し得る株式の総数 : 550,000 株(上限)
※発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.90%
- 株式の取得価額の総額 : 1,000,000,000 円(上限)
- 取得期間 : 2026年3月4日～2027年2月26日
- 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付け
※ 2026年2月16日開示情報
- 2026年7月29日 取得終了
取得した株式の総数 : 413,300 株
株式の取得価額の総額 : 999,967,200 円

保有不動産の一部売却

- 固定資産売却(保有不動産の売却など)
固定資産売却による特別利益 : 1,715百万円
※2026年3月期

| 3月31日付の株主様を対象に株主優待を年1回実施

優待品
クオカード

保有株式数

100株以上～1,000株未満
1,000株以上～5,000株未満
5,000株以上～

継続保有期間
3年未満

1,000円分
2,500円分
4,500円分

継続保有期間
3年以上

1,500円分
3,000円分
5,000円分



なお、株式会社共立メンテナンス様のご協力により
単元株以上を保有されている株主の皆様
に「ラビスタ函館ベイご宿泊優待券」をお届けしております。



当社ホームページを是非ご覧ください

■ <https://www.yasuda-soko.co.jp>

TOPページ



個人投資家の皆様へ





Logistics, Progress, Borderless.

当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当資料における今後の計画や業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、計画達成の確約や将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。

実際の業績等は、経営環境の変化等、様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。